



関西地震観測研究協議会 1996年観測記録一覧 (2)

2014/12/23 16:44更新

発震時	震央緯度	震央経度	震源位置	震源 深さ (km)	M	神戸大学	神戸本山	尼崎	福島	森河内	盾津	弥栄	豊中	堺新湊	堺	忠岡	千早	洲本上灘2	洲本上灘	神戸須磨	猪名川木津	大阪市大	茨木白川	京都椋原	草津山田	奈良大宮	奈良四条	桜井初瀬	和歌山今福	阿倍野	京大桂	京大工	醍醐	神戸垂水	炭山	京大総人	清水寺	備考
-----	------	------	------	------------------	---	------	------	----	----	-----	----	----	----	-----	---	----	----	-------	------	------	-------	------	------	------	------	------	------	------	-------	-----	-----	-----	----	------	----	------	-----	----

- 【凡例】**
- : アスキーファイル化済み
  - : アスキーファイル化済み (600sec以上の非常に長い記録)
  - : バイナリ形式で保存 (遠地地震のため、表面波のみ顕著な記録)

◎アルファベット表記について (深発地震記録に対して適用)

- P-S : P波の頭からS波まで、連続した波が取れている。
  - P : P波の頭から記録を開始していて、S波は含まれていない。
  - S : P波の途中から記録を開始していて、S波は頭から取れている。
  - p : P波の途中から記録を開始していて、S波は含まれていない。
  - s : S波の途中から記録を開始している。
- 注) それぞれの波が独立したファイルとなっている場合は、コンマで区切っている。(例: 'P, s')

- 【注意】**
- ・醍醐は、時刻校正不可の場合が多いため、時刻参照の際は注意が必要。(アスキーファイルの16行目で判断可能)
  - ・京大工学部と醍醐の記録で、1997年4月までの上下成分は、上下成分用の感震器不良のため、使用しない方がよい。
  - ・京大工学部は1997年5月に、また醍醐は1997年7月初旬に修理を完了したため、それ以降は使用可。
  - ・ただし、醍醐は、最大1kineの高感度に設定した。また、1997年7月から8月下旬までトリガーレベルを非常に低く設定していたため、記録数が多い。
  - ・その他、注意事項は、備考欄を参照。

**【震源情報について】**

気象庁の地震月報(カタログ編)による。